

2022年8月16日

関係各位

野村アセットマネジメント株式会社

「投資信託に関する意識調査」を公表

野村アセットマネジメント株式会社（CEO兼代表取締役社長：小池広靖、以下「当社」）は、このたび、当社資産運用研究所が実施した「投資信託に関する意識調査」を公表しました。

当社では2005年から投資信託に関するアンケート調査を継続的に実施し公表しています。今回の調査では、投資信託の保有者率、投資信託を保有するきっかけ、証券投資支援制度の利用状況・意向など、資産形成に関する各テーマについて調査を行いました。

調査概要は以下のとおりです。

【調査対象】

20歳以上の24,153名を対象に、インターネットによる調査を2022年3月22日～28日に実施

【調査結果の要点】

- 投資信託の保有者率は2019年度を底に小幅な上昇傾向にあることが確認できた。年代別の投信保有者率を見ると、他の年代と比べ20代、30代の増加幅が大きく、これらの世代において投資信託の活用を通じた資産形成の広がりが見られた。
- 投資信託を保有するきっかけとして、20代、30代ではNISA制度、特に「つみたてNISA」の割合が高く、これらの制度が資産形成をはじめの一助となっていることがうかがえた。
- 投資信託を保有していない理由は「投資をする資金がないから」「何を買ってよいかわからないから」「損をする可能性が高いと思うから」が上位を占めた。こうした点を踏まえると、投資信託のさらなる普及のためには、少額から投資ができることや、商品・制度などの解説をはじめ、わかりやすい情報提供が求められよう。

当社は今後も、資産運用・資産形成の支援における一助となるよう、投資信託や証券投資支援制度を活用した取り組み状況などを把握・分析し、情報提供を行っていきます。

調査方法や調査結果の詳細は、当社ホームページをご参照ください。当社ホームページには、過去のアンケート調査結果も掲載しています。

<http://www.nomura-am.co.jp/corporate/surveys/>

以上